

小電力無線通信システムの実証試験の開始について

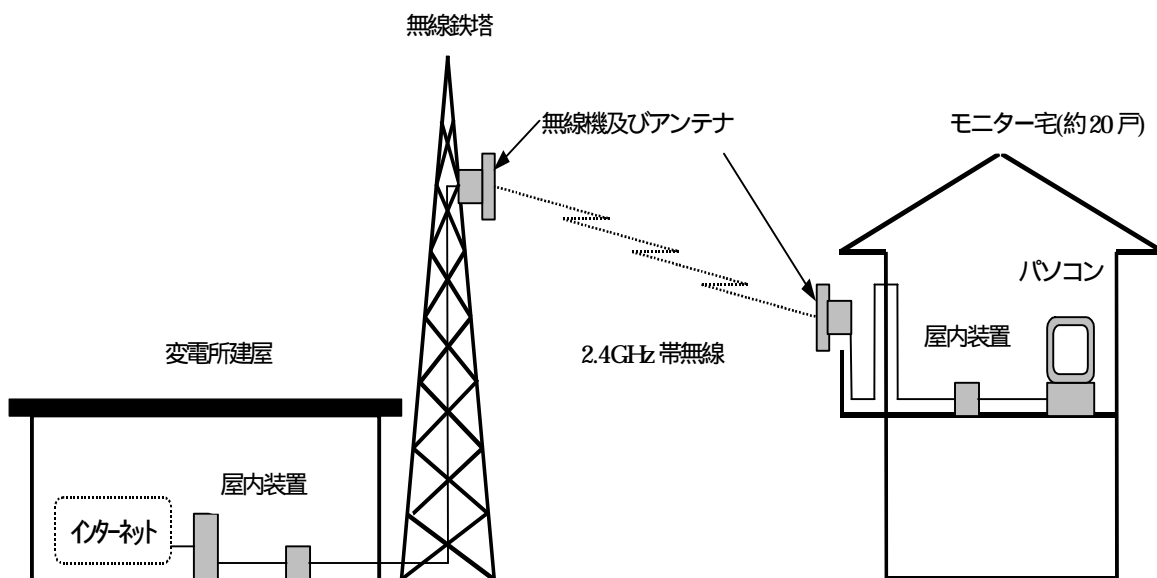
平成12年8月23日
北陸電力株式会社

当社は、今後のお客さまサービスの向上を目指し当社とお客さまとの間の低コストな通信回線構築の可能性を検討するため、2.4GHz帯の周波数を使用する小電力無線通信システムの実証試験を8月下旬より開始いたします。

2.4GHz帯の小電力無線通信システムは、低廉で高速な通信回線の構築手段として近年注目されているものであり、本試験では環境による影響や無線性能、モニターを通じたサービス品質について調査いたします。

調査結果によりますが、この技術は低コストな高速インターネット接続サービスへの適用についても可能性を有するものと考えています。

試験の概要は、以下のとおりです。



2.4GHz帯小電力無線通信システムの実証試験概要図

1. 試験期間
平成12年8月下旬～平成13年3月
2. 試験場所
石川支店金沢電力部（北金沢変電所）及びその周辺
3. 試験機
2.4GHz帯小電力無線機 屋外及び屋内設置

4. 調査・試験項目

- (1) 環境影響調査
北陸地域における雷、降雨、降雪等の気象、電波状態の影響調査
- (2) 無線性能試験
伝送特性試験、他装置からの電波に対する耐力試験
- (3) サービス品質調査
モニターアンケートによるサービス品質調査

以上

[参考]

・小電力無線通信システム

2.400～2.4835GHzまたは2.471～2.497GHzの周波数の電波を使用し、空中線電力が0.01ワット以下であるデータ伝送のための無線通信システム。

無線局の免許が不要であり、有線による通信回線と比較すると構築コストが安いという利点がありますが、雷・雨・雪等の影響を直接受ける屋外での使用実績がほとんどなく、電子レンジや医療用加熱装置等が同じ周波数帯を使用しているためその電波の影響を考慮する必要もあります。